

# 静岡市社会人卓球リーグ戦 運用ルールについて

確認日時：令和6年 7月8日（日） 10：00～12：00

会 場：アイセル21 会議室 ※静岡社会人卓球リーグ戦会議内にて

上記日程にて静岡社会人卓球リーグ戦の会議を開催。運用ルールについての確認が行われ、下記内容を令和6年度より適用する事とした。

## 1・試合方式について

①前年度と同様とする。(1試合：5マッチ方式)

(チーム編成と取り決め事項は静岡市卓球協会 HP 内の「リーグ戦関連書類」から参照。)

※A 登録選手(静岡市卓球協会から日本卓球協会へ登録した選手)が2名以上出場。

1番 ダブルス (3ゲームマッチ)

3ゲーム目、どちらか先に5点取った時点でコートチェンジし、レシーバーもチェンジして試合を進める

2番 シングルス(ダブルスに出場しない選手)(5ゲームマッチ)

3番 シングルス(5ゲームマッチ)

4番 シングルス(5ゲームマッチ)

5番 シングルス(5ゲームマッチ)

②練習試合については下記の通りとする。

・3人の場合 → 5番のシングルスを棄権として、4試合対戦する。

・4人以上いるがA登録者が1人以下の場合 → ルール通りのオーダーで5試合対戦する。

③試合前の練習は2球とする。

④ゲーム間の休憩は30秒とする。

⑤開会式終了までに受付が完了していなければ棄権扱いとする。

ただし、天候等やむを得ない場合には、役員が協議して決定する。

⑥試合開始までにメンバーが揃っていない場合は練習試合とする。但し練習試合はメンバーが2人以下の場合には棄権扱いとして対戦はしない。

⑦試合は5番まで全て有効とする。結果は、5-0、4-1、3-2で記載する。

1番ダブルス、2番シングルス、3番シングルスが勝っても、4番、5番の選手が負ければ3-2となる。(練習試合の結果はリーグ戦表にレ○またはレ×と記載する。)

⑧大会終了時刻の遅延を防止するために、上位部から2つの部で3台を使用するコート割りとする。

⑨2台進行している中で5番目の選手が試合に入ればもう1台は空いているので、次のチームの試合を開始しても構わない。臨機応変に対応する。

## 2・その他

- ①棄権および追加登録選手申請が分かっているチームは、極力前日までに事務局へ連絡する様にする。  
(追加登録選手申請書は、静岡市卓球協会 HP からダウンロード可能。)
- ②試合当日にホワイトボードを活用して棄権及び練習試合のチームを掲載する。  
優勝チーム、敢闘賞もホワイトボードを活用する。
- ③ユニフォーム（上下）はチームで出来る限り揃えてもらう事を推奨する。  
日本卓球協会公認（JTТА ワッペン<sup>®</sup>の黒または赤）があるユニフォームで試合を行う。  
ジャージ等の着用は、審判長へ申請し判断を仰ぎ許可を受けること。
- ④ゼッケンは、必ず出場するチーム名のゼッケンで試合を行う。  
過去の日本卓球協会のゼッケンを加工したものは認めない。
  - ・ A 登録の選手は、必ず登録した年度の日本卓球協会のゼッケンを着用。
  - ・ B 登録及び応援登録選手は、日本卓球協会のゼッケン着用は出来ない。
  - ・ B 登録及び応援登録選手のゼッケンについては、各自が布地のゼッケンに名前、チーム名を記入するなど用意する。
- ⑤試合のオーダー用紙はフルネームで記載し、かつ A、B、C を記載する。
- ⑥オーダーミス発覚の場合には、審判長へ進言し判断を仰ぐこと。
- ⑦各チーム試合終了後に対戦チームの敢闘賞に該当する方の氏名を必ずフルネームで記載する。
- ⑧試合後は勝者が結果を審判長へ毎試合提出する。
- ⑨各試合の卓球台にはリーグ戦表が置いてあるので勝者が結果を記入する。  
(各リーグの進行状況を把握する為。)
- ⑩各リーグの1番目のチームはリーグ戦責任チームとして、そのリーグ戦がスムーズに試合が行われるように試合進行に協力する。
- ⑪リーグ戦の結果（勝ち点）については、日本卓球協会ルールを抜粋。
- ⑫同じ部内で2チーム棄権があった場合には、部内の上位に記載してあるチームを上位とする。練習試合と棄権は練習試合が上位とする。
- ⑬選手、役員以外は、2階の観覧席からの観戦とする。小さな子どもがいるチームはその父兄及びチームが責任を持って子どもの面倒を見る。子どもが1人で会場を歩き回るようなことがないようにする。
- ⑭試合会場の敷地内は禁煙の為、喫煙は会場敷地外でする事。喫煙者は灰皿を各自で用意し、周囲に迷惑ならない様に配慮する事。(受動喫煙防止の措置)